



唐画もん

武禅BUZENに閩苑ROEN

若冲JAKUCHUも

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art
2015.9.8→10.18

大阪歴史博物館
Osaka Museum of History
2015.10.31→12.13



唐画もん

— 武禅に閩苑、若冲も —

江戸時代中期の大坂や京都では、個性的な作風で人気を得た絵師が活躍しました。近年人気の高い伊藤若冲や曾我蕭白はよく知られていますが、同時代の大坂で活動した絵師はあまり知られていないとはいえません。なかでも、墨江武禅や林閩苑は、当時の流行であった中国絵画を学んだ「唐画師」として独自の表現を追求し、大いに人気がありました。

墨江武禅（一七三四〜一八〇七）は船頭でしたが、絵師として名が上がり、盆景や金工作品の制作もする器用な人でした。彼は、大坂の浮世絵師月岡雪鼎に学ぶ一方、中国絵画にも関心を寄せます。光を意識した幻想的な作品やオランダ絵画の写しなど、一風変わった作品を残しています。

林閩苑（生没年不詳、一七七〇〜一七八〇年頃に活動）は、文人画の大成者として知られる池大雅の弟子福原五岳について絵を学び、また多くの中国絵画を見て創作に役立っていました。彼は華麗な花鳥画をいくつも残していますが、荒々しく奇怪な表現の水墨画もあり、また風刺のきいた風俗画も残しています。実に多様な作品を残した絵師ですが、その生涯はよく分かっていない謎の絵師です。

本展覧会では、優れた手腕をもって活躍した武禅と閩苑の二人に焦点を当て、彼らの画業を紹介するとともに、同時代の大坂や京都で活躍した個性派の絵師たちを紹介いたします。



主催 千葉会場：千葉市美術館／産経新聞社
大阪会場：大阪歴史博物館／産経新聞社／関西テレビ放送

各会場とも会期中に展示替えを行います。
会場により展示作品、展示構成は異なる場合がございます。

表面 上：林閩苑《得双寿図》(部分) 個人蔵 中：伊藤若冲《鶏図》(部分) 個人蔵
下：墨江武禅《明州図》(部分) 大阪歴史博物館蔵

裏面 1：林閩苑《大鷲図》個人蔵 2：墨江武禅《花鳥図》個人蔵
3：耳鳥斎《中村歌右衛門》『梨園書画』(下巻)より 大阪歴史博物館蔵
4：伊藤若冲《鶏図》千葉市美術館蔵
5：墨江武禅《龍図》個人蔵 6：森狙仙《月下猿図》千葉市美術館蔵

2015年
9月8日(火)→10月18日(日)

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311 <http://www.ccma-net.jp>

■ JR千葉駅東口より 徒歩約15分
／京成バス(バスのりば7)より
大学病院行または南矢作行にて
「中央3丁目」下車徒歩2分
■ 京成千葉中央駅東口より徒歩
約10分

2015年
10月31日(土)→12月13日(日)

大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32
Tel.06-6946-5728 <http://www.mus-his.city.osaka.jp>

助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団

■ 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅2号・9号出口
■ 大阪市営バス「馬場町」バス
STOP